

---

## 東日本大震災時のA県の市町村における他地域住民への保健師活動の実態

(白木裕子ほか：日本災害看護学会誌 15: 38-46, 2014)

2018年5月18日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

---

本論文は、A 県の市町村保健センターにおける、東日本大震災時の他地域住民への保健師活動の実態を調査した報告である。その方法は、44 か所の市町村保健センターを対象に、自記式調査票の郵送法による調査、報告である。

### 1. 緒言

東日本大震災は未曾有の大災害であった。これは、保健師が想定していた活動の領域を超えるものであった。多くの住民が、住み慣れた土地を離れ、避難を強いられた。そのため、東日本大震災における保健師の活動として、住民への災害支援活動と、他県から避難してきた住民に対する対応が求められた。

過去の報告で、東日本大震災時の他地域住民に対する支援活動として、集団での避難を受け入れた自治体での活動は報告されているが、大規模災害と他地域住民への支援という構造下での保健師活動については十分に検討されておらず、研究報告がなされていない。さらに、今後の大規模災害においても、他地域住民に対する支援活動は求められることが十分予測される。そのため、本研究は、他地域住民に対する支援を検討する際の基盤として、重要である。

### 2. 健康管理への支援

災害時における保健師活動では、「健康管理」が最も基本であり、優先される。本調査において、「健康管理」は 9 割の施設で「うまくいった」と回答していた。さらに、「健康管理」のための生活の質の保持という点に注目すると、約 8 割の施設において「環境設備・物品補充」が実施できていた。このことから、保健師は他地域住民への「健康管理」へのニーズを把握し、活動できたと考察される。

### 3. 他地域住民への不安の支援

災害時における、有効な災害健康ニーズの支援のためには、安心を与え、孤立化を防止することが重要である。また、集団での避難を受け入れた自治体での過去の報告において、避難住人の健康支援のみではなく、被災者のつながり創出の重要性が指摘されている。一方、本調査では、「他地域住民同士の関係性」「地元住人への関係性」がうまくいったと回答されたのはそれぞれ約 5 割、3 割である。このことから、関係性の構築は必ずしも容易ではなかったと考察されている。その要因としては、今回の避難者の多く

が個人の避難であり、必ずしも関係性が構築されるほど長く避難所にいるとは限られないこと、また、避難所を管轄内の住民と別に設置した地域があることがその要因であると考察されている。

#### 4. 要援護者への支援

本調査では、7割の施設で他地域住民の中に要援護者が含まれていた。今回の避難者の多くが個人の避難であることから、それほど重症度は高くない要援護者が多かったことも考察される。一方、要援護者の二次的健康障害のリスクを下げるための「住民特性の把握」は重要だが、本調査では「うまくいかなかった」との回答が3割と多かった。また、要援護者を受け入れた16施設のうち通院先の確保ができたのは67%の12か所であり、そのうち、保健所との連携が取れていたのは41.7%の5施設であった。要援護者の支援において、確実な通院先の確保のために保健所と連携し、通院先を確保することが望ましく、今後は、お互いの役割を明確にする必要があると考察される。

#### 5. 次の災害に対する備え

他地域住民の支援に関して、マニュアルが準備されている施設はなかった。現在のところ、東日本大震災を踏まえて各地で作られている災害マニュアルにおいても、他地域住民に対する支援の項目が織りこまれているマニュアルは少ない。今回の東日本大震災のように、受け入れ側の市町村も被災し、管轄内の住民への対応をしつつ、他地域の住民を受け入れた支援の想定が必要である。そのため、東日本大震災での経験を活かしたマニュアルの作成が重要となる。

結果抜粋)

平常時の準備(N=38)		施設	割合(%)
マニュアル作成の有無	あり	0	0
	なし	38	100

他地域住民の避難状況(N=23)		施設	割合(%)
避難形態	個人	20	87
	個人または集団	3	13
要援護者の有無	あり	16	69.6
	なし	7	30.4

他地域住民への支援内容(N=23)		施設	割合(%)
健康管理	うまくいった	21	91.3
	うまくいかなかった	1	4.3
	実施せず	1	4.3
	無回答	0	0
環境整備	うまくいった	15	65.2
	うまくいかなかった	4	17.4
	実施せず	3	13.0
	無回答	1	4.3
物品補充	うまくいった	15	65.2
	うまくいかなかった	2	8.7
	実施せず	5	21.7
	無回答	1	4.3

他地域住民への支援内容(N=23)		施設	割合(%)
他地域住民同士の関係性の構築	うまくいった	12	52.2
	うまくいかなかった	1	4.3
	実施せず	9	39.1
	無回答	1	4.3
他地域住民の特性把握	うまくいった	8	34.2
	うまくいかなかった	6	26.1
	実施せず	8	34.2
	無回答	1	4.3
他地域住民と地元住民との関係性の構築	うまくいった	8	34.2
	うまくいかなかった	3	13.0
	実施せず	11	47.8
	無回答	1	4.3